

地域の多文化共生の基盤づくりを

JICA「NGO等提案型プログラム」署名式

一般社団法人北海道多文化共生 NET(苫小牧市、代表理事 五十嵐啓子氏)提案のプログラム「外国人の社会参画支援を目指した自走可能な地域コミュニティ形成のための基盤構築」が国際協力機構(JICA)のNGO等提案型プログラムに採択され、4月16日(火)14:30から苫小牧市内のHISAE日本語学校で署名式を行います。

JICAでは国内外で国際協力や多文化共生の活動を行うNGO等の団体の支援を行っており、このたび苫小牧市等を中心に、多文化共生ワークショップ、「やさしい日本語」講座、避難所体験など、地域の多文化共生を促す活動を実施してきた北海道多文化共生 NETの活動を支援することとなりました。今回のプログラムでは、在住外国人の受け皿となる地域コミュニティ形成のためのガイドライン作成を目的に、セミナー、ワークショップ、交流イベントなどを地域住民の声を汲み取りながら実施していきます。

プログラム詳細や今後の具体的な計画については是非、取材にお越しく下さい。

・署名式

日時：2024年4月16日(火)14:30～

場所：HISAE日本語学校

署名者：北海道多文化共生 NET 代表理事 五十嵐啓子
JICA北海道センター 所長 阿部裕之

・北海道多文化共生 NET

<https://hkdmcnet.com/>

・JICA NGO等提案型プログラムについて

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/ngo_support/ngo_proposal/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 市民参加協力課 湯本

TEL011-866-8421 e-mail: Yumoto.Reiji@jica.go.jp



上：ワークショップに参加している在住外国人の様子

下：北海道多文化共生NET代表理事の五十嵐氏が講師を務める日本人向け講座の様子

